

Sun Solaris Ver2.6/Ver7 の設定方法

< 概要 >

ここで掲載している設定方法は、Sun Solaris Ver2.6/Ver7 から SVS-06 シリーズを經由して印刷する際のものです。また、本紙で掲載している設定方法は、UNIX workstation に IP アドレス等の設定を既に終えていることを前提とします。なお、UNIX workstation の IP アドレス等の設定に関しては、お手持ちの UNIX マニュアルをご覧ください。

< 設定手順 >

SVS-06 シリーズに IP アドレスを設定
telnet で SVS-06 シリーズの詳細を設定
hosts ファイルに SVS-06 シリーズを登録
プリンタの作成
印刷

【注意】 設定の際には、全て root ユーザ（スーパーユーザー）で行って下さい。

< 設定説明 >

SVS-06 シリーズに IP アドレスを設定
arp と ping のコマンドを使用して SVS-06 シリーズに IP アドレスを設定して下さい。

```
例) # arp -s *.*.*.* 00:A0:7A:xx:xx:xx temp
      # ping *.*.*.*

      *.*.*.* is alive
```

以上の様に返答が返ってきましたら SVS-06 シリーズの電源を OFF/ON して下さい。これで設定完了です。

..*.* = SVS-06 シリーズに割り当てる IP アドレスを入力して下さい
00:A0:7A:XX:XX:XX = SVS-06 シリーズの裏側に記載している MAC アドレスを入力して下さい

サブネットマスクとルータアドレスの設定が必要な場合は、 TELNET で設定を行うことができます。

TELNET

arp/ping で SVS-06 シリーズに IP アドレスを設定してあれば、UNIX workstation から TELNET で SVS-06 シリーズの設定を確認または変更できます。詳細はマニュアル内「TELNET」の項目をご覧ください。

Hosts ファイルに SVS-06 シリーズを登録

UNIX workstation を起動して、root ユーザでログインして下さい。

```
# vi /etc/hosts
```

上記の様に vi 等のエディタコマンドを使用して hosts ファイルに SVS-06 シリーズのホスト名と IP アドレスを登録して下さい。(大文字、小文字は区別されます。)

IP Address	Host name
100.100.100.1	localhost
⋮	⋮
100.100.100.99	pc_A
<u>100.100.100.100</u>	<u>SVS_06XX</u>

上図内の.....部分のように SVS-06 シリーズ用の 1 行を追加して下さい。

プリンタの作成

```
# lpadmin -p printer -v /dev/null
```

printer = UNIX workstation に登録する際のプリンタ名

```
# lpadmin -p printer -i /usr/lib/lp/model/netstandard
```

```
# lpadmin -p printer -o dest=SVS_06XX:出力ポート_フィルタ名 -o nobanner
```

SVS_06XX = hosts ファイルに登録した SVS-06 シリーズのホスト名

出力ポート = SVS-0610e では「lpt1」を、
SVS-0620e では「lpt1、lpt2、com」の中から選択して下さい。

(上記物理ポート以外に、論理プリンタポート(例: prt11、...) を指定する事もできます。論理プリンタについては、弊社マニュアル「第7章 論理プリンタ」をご参照下さい。)

フィルタ名 = UNIX 側に既にローカルフィルタがある場合には、フィルタ名の設定は必要ありません。ローカルフィルタがある場合にフィルタ名の設定を行うと文字化けを起こす可能性があります。指定できるフィルタ名は以下の 8 項目です。特に Postscript printer をご利用の場合には、必ず PS / ps フィルタをご使用下さい。フィルタ名を小文字で指定した場合、SVS-06 シリーズは UNIX workstation からの印刷データを EUC コードとして扱い、大文字の場合は SJIS コードとして扱います。

LIPS	/	lips	=	Canon 製 LIPS 仕様プリンタ
PC98	/	pc98	=	NEC 製プリンタ
PS55	/	ps55	=	IBM 製プリンタ
FMR	/	fmr	=	富士通製プリンタ
ESCP	/	escp	=	EPSON 製 ESC/P 仕様プリンタ
TOS	/	tos	=	東芝製 PC-PR201 仕様プリンタ
TOSE	/	tose	=	東芝製 ESC/P 仕様プリンタ
PS	/	ps	=	PostScript 対応プリンタ

-o nobanner = バナーページを付加しない印刷を許可する場合に必要です。

```
# lpadmin -p printer -l ファイルコンテンツ名 -T unknown
```

ファイルコンテンツ名には、以下の3項目から選択して下さい。

simple	text ファイルのみ適用
postscript	postscript ファイルのみ適用
any	上記以外のファイルに適用

```
# accept printer
```

destination "printer" now accepting requests

```
# enable printer
```

printer "printer" now enabled

以上で設定終了です。

印刷方法

a) コマンドラインからの印刷

```
# lp -d printer ファイル名
```

通常の印刷方法は上記の様にさせて頂ければ正常に印刷できますが、PostScript プリンタから印刷データを出力させる際には、印刷データを PS データに予め変換しておかなければいけません。変換方法には、jtops コマンドをご使用下さい。

```
# jtops ファイル名 > ファイル名(2)
```

変換項目の表示

(注意) PostScript プリンタから印刷データを出力させる際には、以下の項目に気を付けて下さい。

1. 印刷データが PostScript データであること。
2. 内蔵フィルタの設定で PostScript フィルタを指定すること。
3. ファイルコンテンツの設定で postscript を指定すること。

また、バナーページを付加しない印刷を許可している場合には、下記のコマンドでバナーページを付加せずに印刷ができます。

```
# lp -d -o_nobanner printer ファイル名
```

FTP 印刷

Host ファイルに登録したりプリンタを作成しなくても、このコマンドを使用して簡単に印刷ができます。使用方法についての詳細はマニュアル内「FTP での印刷」の項目をご覧ください。